

2026

1.10^土

交響する古代XVI

国際学術研究会

全体テーマ 〈古代東アジア社会の史資料—モノとテクスト—Ⅳ〉

開会挨拶 10:00 ~
午前の部

明治大学グローバルフロント1階
グローバルホール

セッションⅠ「弥生土器」10:05 ~

石川日出志 | 明治大学
名誉教授
中部地方弥生土器における亀ヶ岡系文様帯

植木雅博 | 船橋市教育委員会文化課
関東・弥生時代中期土器の複合性—天神前式を例に—

院生発表 11:30 ~

蔡忠義 | 明治大学大学院
博士後期課程
『萬葉集』古写本における「逕」の字形について

午後の部

セッションⅡ「絵画・記号・文字の土器」13:00 ~

吉村武彦 | 明治大学
名誉教授
趣旨説明

橋本裕行 | 明治大学文学部
兼任講師
弥生絵画にみる象徴性について

永山修一 | 前ラ・サール高等学校
鹿児島県出土の戯画・記号土器

渡辺 一 | 前鳩山町教育委員会
須恵器北方階梯論と記号・文字の新研究

セッションⅢ「毛利家旧蔵資料」15:50 ~

牧野淳司 | 明治大学文学部
教授
明治大学図書館所蔵毛利家文庫旧蔵書の性格について

石澤一志 | 鶴見大学
非常勤講師
紹巴と玄仍—毛利家と連歌師—

中村成里 | 明治大学商学部
准教授
毛利家文庫の形成過程—毛利重就自筆題簽を端緒として—

閉会挨拶 17:30 ~

対面・オンライン併用開催

どちらの参加方法でも、事前申し込みが必要です。
(1月6日締切、対面は先着100名)

https://www.isc.meiji.ac.jp/~meikodai/obj_info.html#kokyo16



主催：明治大学日本古代学研究所

共催：科学研究費 基盤研究 (A) 「双方向性をもつ墨書土器プラットフォームの構築と墨書土器研究の新展開」(研究代表者：吉村武彦)
科学研究費 基盤研究 (B) 「中近世毛利家における知的体系の復元的研究—明治大学図書館所蔵毛利家旧蔵書を起点に」(研究代表者：牧野淳司)
科学研究費 基盤研究 (C) 「土器型式の動態から見た弥生時代中期日本列島社会の変革」(研究代表者：石川日出志)